

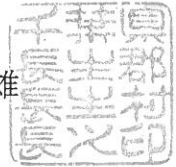


長 建 第 2 8 4 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

長生村長 石 井 俊 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました、標記の件名について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

千葉県 長生村

現在、村の道路整備の状況は、1・2級村道で舗装率99%、改良率96%となっています。しかし、舗装道の経年劣化、路肩部分の除草作業及び橋梁の老朽化等により、維持管理費が増大し、財源確保に大変苦慮しているところ です。

よって、増大する道路維持事業に対応すべく、維持管理費の支援をお願いいたします。

また、村では平成19年度より「安心と安全を確保し潤いのある生活しやすいまちづくり」を目標とした、まちづくり交付金事業に着手し、基幹事業として、道路整備を実施しています。

本年度以降も引き続き交付金事業を活用し、道路整備を実施していきますので、ご支援の程よろしくお願 いします。

以上の件につきまして、格別なる配慮を賜りますようお願い申し上げます、本村の要望といたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

千葉県 長生村

○現状

主要幹線道路（国道含む）は交通量の増加に伴い、自転車、歩行者が危険にさらされている箇所が多く存在している。また、村道の修繕・除草・橋梁の老朽化など維持管理問題を抱えている。

○課題

特に住宅地は家屋移転等の問題により、自歩道の設置が困難な箇所が多く、歩道幅員を狭く計画することにより、安全確保を図る。また、維持管理については、生活道路の修繕・除草は、地域に協力をお願いし、経費を抑え、幹線道路については村が実施する。なお、橋梁は30年経過したものが多く、計画的に長寿命化を図る。以上のように地域の多様化する道路整備に対応するため国の各補助事業の柔軟性が必要となってくる。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

千葉県 長生村

村道路整備計画との整合性を図りながら、安全性・快適性の観点から公共施設へのアクセス道路や通学路で交通量が多く、自転車・歩行者が危険にさらされているような場所の自歩道の分離や交差点の改良を推進する。併せて、道路標識や路面標示の整備に取り組む。また、身近な集落内の生活道路については、雨水で冠水し通行に支障がある路線には排水の整備をし、舗装路面の損傷が著しい場所の修繕や危険な交差点改良を行い、道路のバリアフリー化を推進して行く。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

千葉県 長生村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他